



## ご挨拶

同志社校友会群馬県支部の皆様、今年もお世話になりました。4年振りに対面行事が実施出来て役員一同ホッとしております。新役員体制での初めての対面行事の為に、行き届かない面も多々あったと存じますが、内容的には4年前と同等以上に楽しい会が出来たと考えており、来年も更に多くの皆様に参加して頂ける企画を行う予定でおります。

一方 世界では終わりの見えないウクライナの戦争に加えてイスラエルでも戦争が再発した暗いニュースもありますが、明るいニュースと言えば、やはり今年の主演とも言える大谷選手の活躍でしょう。彼が高校時代に作ったマンガラチャートをご存じでしょうか。1番でプロになる為に72個の目標を書くだけでも大変ですが、実践したのが凄い事です。プロになったら世界一を目標に、新たなマンガラチャートを作成して実践している様に感じています。

さて、群馬県支部の活動も来年からは本格的な新しい時代になるべく企画していきたいと考えております。総会でも申し上げましたが、この会が会員の皆様にとって楽しい会であることをモットーとし、会全体の若返りにも努力して行きます。母校愛のある方や先輩との意見交換をしてみたい方、更には現在の催し事以外に新しい企画をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご遠慮なくご意見をお寄せください。お待ちしております。

群馬県支部 支部長 内田隆雄

## 春の集い

3月12日(日)にマリエール高崎で4年振りに「春の集い」を開催することが出来ました。新島学園の湯浅康毅理事長・古畑晶中学校高等学校長を来賓に迎え、31名の校友会・同窓会会員が参加してくれました。この会員の参加者の中には2名の初参加者もありました。

懇親会に先立ち、早春に相応しい「箏とフルートの演奏」を楽しみました。前橋出身の箏奏者鈴木創(はじめ)さんとフルート奏者木村ひかりさんの共演でしたが、やっと実現したお二人の演奏に参加者全員が感動していました。

懇親会では挨拶された校友会の内田支部長と同窓会の豊泉支部長のお二人のこの3年間の忸怩たる思いに、参加の方々はお目にかかることの有難さを、しみじみ噛みしめているようでした。来賓のご挨拶では新島学園湯浅康毅様から同志社校友会・同窓会の益々の発展のエールを頂きました。飯降副会長の乾杯発声の後は、各自思い思いの対応で久々の対面会食を楽しんでいました。最後に同志社カレッジソングを力強く歌い、3時間の宴をお開きとしました。



## 令和5年度支部総会

10月22日(日)にマリエール高崎で4年振りに対面で総会を行うことが出来ました。大学から植木学長、校友会本部から松岡会長、同窓会本部から南野会長、県内からは共愛学園の須田理事長と大川学園長と新島学園の高山副学長、更に近隣の支部長6名の出席の下、計37名の参加でした。内田支部長の「コロナ過で何もできなかった」と口惜しさを語ったご挨拶の後、植木朝子学長のご挨拶を頂き、活動報告・会計報告・監査報告に全会員の賛同を得て、無事の本会議を終えることができました。

その後は植木朝子学長に「梁塵秘抄の世界一平安時代の流行歌」と題してのご講演を頂きましたが、参加者は同窓会と合同で61名となりました。平安時代の流行歌について丁寧に講演を頂きましたが、特に植木学長が澄み切った優しさに満ちた声で奏でたお歌に皆さん聞き惚れていたようでした。

講演後は参加者全員で記念写真を撮り、懇親会へと進みました。内田・豊泉両支部長の挨拶の後に松岡校友会会長と南野同窓会会長の挨拶を頂き、小栗幹事の祈禱の後、飯降校友会副支部長の乾杯で懇親会が始まりました。ご来賓や新参加の会員のスピーチで大いに盛り上がり、各種書籍や「同志社かるた」及び「ジェーンズTシャツ」等が当たる景品抽選会では会場がざわつくほどの状況でした。

最後は恒例の三輪会計幹事のリードでカレッジソングとチェアを、皆で肩を組み歌い、お開きとなりました。



## All Doshisha募金

11月30日現在、群馬県の募金は個人：62名17,056千円、団体：2団体500千円、法人：3企業300千円の、合計17,856千円です。会員の皆様方にご協力を頂きましたこと、改めて感謝申し上げます。

なお、全体の募金状況は、個人1,015,925千円、団体50,866千円、法人592,364千円、合計1,659,155千円で、目標の約33%となっております。

新型コロナウイルスの影響で、積極的な募金活動の展開が困難な状態が長らく続いてきましたが、漸く感染状況も落ち着いてまいりました。今後とも折に触れ募金のお声掛けをさせていただきますので、更なるご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。





## 新島研究会

## (1) 総括

本年度は平成23年の発足以来13年目になります。各自の研究発表もさることながら、コロナのうっ憤晴らしもあり、外部との交流も活発な年でした。

## (2) 「京都、奈良、吉野」旅行（6月5～7日）

10回の節目となる旅行につき、同志社創立に関わった大恩人である土倉庄三郎の地・吉野の訪問を一番の目的とし、同窓会員を含め総勢13名の旅でした。

初日は、群馬新島研究会の講師で新島短期大学の准教授であった山下智子先生が同志社女子大学に移られ、教授に昇格したお祝いを兼ねて同志社女子大学を訪問しランチを共にしました。その後「冷泉家」を見学してから奈良に向かい、「子規の庭」が見える「天平倶楽部」で夕食を堪能しました。

二日目は、貸切のマイクロバスでホテルを出発、吉野の川の源流にある川上村に行き「土倉庄三郎の銅像・岩壁碑文」「蜻蛉の滝」を見学、お昼は名物の「柿の葉すし」を食べ、「金峯山寺」「吉水神社」を参拝して奈良に戻りました。

最終日は「唐招提寺・鑑真和上座像」を特別拝観してから「奈良ホテル」で昼食し、「奈良国立博物館」で特別公開していた「金剛力士像」を見学して帰りました。

## (3) 「青山学院、青山墓地」東京散策（11月18日）

「新島襄の同志社、青山学院」設立の折、大変お世話になった津田仙を偲び、東京新島研究会の津田道夫氏に案内され、群馬新島研究会と東京新島研究会が合同で散策しました。津田仙は、津田塾の創立者の津田梅子の父であり、津田道夫氏の曾祖父にあたる人です。

青山墓地には、「津田仙」や同志社一期生の「元良勇次郎」、新島襄死後に同志社の社長、校長を務めた「小崎弘道」の墓もあり、大久保利通などの有名人や外国人のお墓も多数あります。



## 平成卒交流会

コロナの5類への引下げと皆様方のご協力で、3回の交流会を開催出来、参加者同士で和気あいあいと懇親を深める事が出来ました。引き続き定期的に交流会を開催致しますので、是非幹事三輪まで連絡をお願いします。

## 第11回：4月22日(土)PM6:30～ 高崎市上通町 炉さかいの

コロナ明けの初めての交流会で懸念されましたが、男性7名 女性1名の計8名のいつもの様な参加人数で、久しぶりに交流を深めることが出来ました。

## 第12回：11月8日(土)PM1:00～

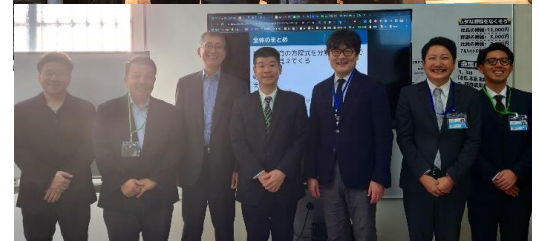
太田市の多角化企業であるプリマベアの、成果の出る「仕組み化経営」を学びに有志4名で特別に参加させて頂きました。

14期連続で増収増益を達成したプリマベアの本部や店舗及びバックヤードを全て公開して頂き、「仕組み化経営」の現場をリアルで見学することができ、色々な独自の取組みについて勉強することができました。

## 第13回：12月9日(土)PM6:45～ 前橋市鳥羽町 炭火焼肉 LOM

前橋会員が増えたということで、初めての前橋会場での開催の企画でした。男性10名 女性1名の計11名の参加でしたが、前橋駅からお店までの送迎があったので高崎会員も電車での参加が出来て、存分に美味しいお肉とお酒を堪能することが出来ました。

2次会も前橋の街中のおしゃれなお店に移動し、夜遅くまで行いました。



## 2024年計画案（来年の主な校友会行事です。奮ってご参加下さい。）

1. 平成卒交流会：初回を2月4日(日)の予定で計画。
2. 春の集い：3月2日(土)の予定で準備中、詳細は別途案内を参照ください。
3. 総会・懇親会：9月29日(日) 予定表に記入しておいてください。
4. その他：会員の方々が何か新企画を希望の方は、ぜひご連絡ください。

（ご意見・ご要望につきましては、直接幹事にご連絡いただくか、下記HPのメールでお送りください。）

